

## #21 モーセはエホバの民がみな預言者となること

を願う (民数記の結晶の学び) 2019/10/14-20

**I. 私たちの神は語る神です:** ヘブル1:1-2 神は、昔は多くの部分において、多くの方法で、預言者たちを通して、父祖たちに語られました。これらの日々の終わりに、御子の中で私たちに語られました。神は御子を万物の相続者と定め、また御子を通して宇宙を造られました。**A.** 神は奥義ですが、この奥義は神の語りかけによって、すでに啓示されています:**1.** 神聖な語りかけがなければ、人が神を知ることは永遠にできなかつたでしょう。

**2.** 私たちの神は啓示された神です。なぜなら、彼はすでに彼の語りかけの中でご自身を啓示しているからです。

**B.** すべての被造物は、神の言葉から出て来ました。

**1.** 旧創造(全宇宙)は、神の語りかけによって、存在するようになりました。**2.** 新創造は、御言としての神の語りかけ全体によって、存在するようになりました。

**3.** 語る神は、彼の語りかけを通して、継続してすべての事を行なっています。

**C.** 生ける神は語ることによって、ご自身を私たちの中へと分け与え、注入しています:**1.** 神が語る時、光が照り、私たちに理解、ビジョン、知恵、語る言葉をもたらします。

**2.** 神が語る時、命が分け与えられます。この命はキリストのすべての神聖な属性と、人性の美德を含んでいます。

**3.** 神が語る時、力が伝達されます。これは命の成長し生み出す力です。

**D.** 旧約で、神は多くの部分に分けて、多くの方法で、預言者たちを通して、すなわち神の霊によって動かされた人々を通して、父祖たちに語りました。

**E.** 新約で、神は御子の中で、すなわち御子のパーソンの中で語ります:**1.** このパーソンは、最初は個人的なものであり、その後、団体的なものとなりました。

**2.** 神は今日、ひとりのパーソンの中で語っています。このパーソンはすでに拡張して、一人の団体の人となっており、すべての使徒と、このパーソンのからだのすべての肢体を含んでいます。**3.** 信者たちはみな団体の御子の一部分です。神は依然として御子の中で語っています。

**F.** 語る神は、語る民を持つことを願っています。 **月**

**II. 民数記11:29でモーセは叫んで言いました、「ああ、エホバの民がみな預言者となり、エホバが彼らの上にご自身の霊を与えてくださるとよいのに！」:** **A.** 預言者とは、おもに未来を予言する人ではなく、アロンがモーセのために語ったように、他の人のために語る人です。

**B.** 預言者は神の代弁者です。彼らは神のために語り、神を語り出します:**1.** 神は隠されていますが、預言者の語りかけを通して、神ご自身と神の意図は説明されます。

**2.** 預言者は神の啓示を直接受け、神の霊によって動かされて、神のために語り、神を語り出します。

**C.** モーセはイスラエルの民がみな預言者となること、すなわち神のために語る者となることを願いました:民11:29 しかし、モーセは彼に言った、「あなたは私のためにねたみを起こしているのか? ああ、エホバの民がみな預言者となり、エホバが彼らの上にご自身の霊を与えてくださるとよいのに！」。

**1.** 民数記11:29の言葉は、モーセが発した大いなる予言でした。**2.** 神の民がみな預言者となるべきであるという事柄に関して、新約のパウロと旧約のモーセは一致しています:Iコリント14:31 なぜなら、あなたがたはみな一人ずつ予言することができるからであり、それはすべての人が学び、すべての人が励まされるためです。

**a.** モーセが語った言葉は、パウロがIコリント14章で押し進めました。そして、神の新約エコノミーの中で、召会の集会で信者たちが預言

することによって成就されます。**b.** パウロの観念はモーセから来た可能性があります。なぜなら、パウロは旧約を理解していた者として、モーセが民数記11:29で言った事を熟知していたに違いないからです。**c.** 旧約においても新約においても、神は彼の民が神のために語ることを欲しています。

**D.** 預言者は、私たちを神の光と啓示の中へともたらす方としてのキリストを予表しています。 **火**

**III. 「エホバ、あなたの神は、あなたがたのうちから、あなたがたの兄弟たちのうちから、私のような預言者をあなたのために起こされる。あなたがたは彼に聞き従わなければならない」(申18:15):** **A.** 15~19節において、モーセはエホバ・神がイスラエルの子たちのためにモーセのような預言者(来たるべきキリスト)を起こすことについて語っています。

**B.** 使徒3:22は、申命記18:15~19をキリスト(彼は肉体と成って人と成った神です)に適用しています。これは、キリストが神によって彼の民イスラエルの子たちに約束された預言者であることを示しています。

**使徒3:22** モーセは言いました、『主、あなたがたの神は、私のようなひとりの預言者を、あなたがたの兄弟たちの中から、あなたがたに興されるであろう。彼があなたがたに語られる事は何であれ、彼に聞くべきである。』

**C.** 預言者が彼らの兄弟たちのうちから起こされることは、来たるべき預言者としてのキリストが神聖であり、また人に属することを示しています:**1.** キリストは神として、兄弟としてのユダヤ人の中から起こされることはあり得ませんでした。しかし、肉体と成った方として、彼の兄弟たちのうちから起こされました。**2.** 来たるべきキリストは、神が肉体と成って神・人となった方です。

**D.** 申命記18:18は、神がキリストの肉体と成ることを通してこの預言者を起こして、神の言葉を語らせることを示しています:申18:18 私は彼らのために、彼らの兄弟たちのうちから、あなたのような預言者を起こそう。私は彼の口に私の言葉を置く。彼は私が命じることをすべて、彼らに語る。

ヨハネ7:16-17 イエスは答えて言われた、「私の教えは私のものではなく、私を遣わされた方のものである。だれでも彼のみこころを決意して行なおうとするなら、その教えについて、それが神からのものか、私が自分から語っているのかを知るであろう」。

**1.** 神の言葉を語ること、すなわち預言することは、神を分与し、神を他の人の中へと語り込むことです。**2.** これは、主イエスが神によって起こされた預言者として行なったことです。 **水**

**IV. 旧約における預言者は、新約における油塗る膏油としての聖霊を予表します:** Iヨハネ2:20 あなたがたは聖なる方から油塗りを受けているので、あなたがたすべては知っています。

**27** あなたがたの中には彼から受けた油塗りが住んでいるので、あなたがたは、だれにも教えてもらう必要はありません。彼の油塗りが、すべての事をあなたがたに教えます。この油塗りは真実であって、偽りではないのですから、油塗りがあなたがたに教えたように、彼の中に住んでいなさい。

**A.** 新約において、聖霊は預言者の働きに置き換わりました。**B.** 聖霊の油塗りは、旧約の預言者に置き換わりました。

**C.** 聖霊、油塗る要素は、私たちの中へと入って、私たちの預言者となっています。**1.** 旧約において、聖霊が啓示を与えた代表は預言者でした。

**2.** 今日、預言者によって予表される啓示の霊は私たちの中におられ、そしてその霊が私たちに啓示を与えます。

**D.** 私たちの内側の油塗る霊は預言者です:**1.** 油塗る霊は、私たちの中へと入って、私たちの生ける預言者となっています。**2.** 旧約において、神の霊は特定の人々に臨み、彼

らだけを感じさせました。今や、その霊は私たち全員の中へと入って、私たちの預言者となっています。3. 人々を感じさせて預言者とならせるその霊は、油塗りとして私たちの中へと入って、私たちの預言者となっています。

V. 新約が見せているのは、神が私たち救われ再生された者たちに、預言者として預言してもらいたいということです：

Iコリント14:3 ところが預言する者は、建造と励ましと慰めを、人に語るのです。5 私は、…願いますが、特に、あなたがたに預言してもらいたいのです。…召会が建造されるためには…。31 なぜなら、あなたがたはみな一人ずつ預言することができるからであり、それはすべての人が学び、すべての人が励まされるためです。A. 預言することは卓越した賜物であり、それはキリストを享受することを通して、命の成長の中で生み出され、召会を建造するためです。

B. 新約の信者は、神によって救われて、王となり、祭司となり、神のために預言する預言者となります：1. 再生され救われた人は、神のために預言することができます。

2. 神の願いは、一人一人の信者が預言すること、すなわち、神のために語り、神を語り出すことです。

3. 肉体と成ることの原則にしたがって、神は私たちの内側で、また私たちを通して語ることを欲しています。

C. 神のために語ることと神を語り出すことは、神の霊によって語ることです。その霊は私たちと共に、私たちを通して語る準備が常にできています。

D. 「…のために語る」また「…を語り出す」という意味において預言すること(神のために語り、神を語り出すこと)は、命における多くの成長を必要とします：1. このために、私たちは神を知り、キリストを経験する必要があります。

2. もし私たちに神に対する十分な認識と、キリストに対する十分な経験がなければ、私たちは彼のために語るものを何も持っておらず、彼を語り出すことができません。

E. 新約の預言者の主要な働きは、人を建造し、励まし、慰めることです。

F. 召会の集会で預言することの目標は、キリストのからだとしての召会を建造することです。Iコリント14:12 召会の建造のために、卓越するように求めなさい。

G. 預言には、預言を構成する三つの要素を必要とします：1. 神の御言に対する認識一人に属する学びの要素。

2. 聖霊の即時的な感動—神聖な感動の要素。Iコリント14:32 そして預言者の霊は、預言者に服従するのです。

3. ビジョンを持って、神の権益とエコノミー、キリストのからだとしての召会、地方召会、この世、個々の聖徒たち、さらには私たち自身を見ること—神聖な光の照らしを通しての観点。エペソ1:17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の御父が、知恵と啓示の霊をあなたがたに与えて、あなたがたに彼を十分に認識させ。

H. 私たちが預言しようとするなら、預言の生活をする必要があります：1. 私たちは毎朝復興される必要があります：箴4:18 しかし、義人の路(みち)は夜明けの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。a. 義人の路(みち)は夜明けの光のようであり、ますます輝きを増して真昼となります。これは、神の創造における自然の法則にしたがっており、私たちはこの自然の法則に従わなければなりません。

b. 哀歌3:22~24において、エレミヤは主のあわれみは朝ごとに新鮮で新しいと言っています。哀3:22 私たちが滅ぼされないのは、エホバの慈愛である。まことに、彼のあわれみは尽きることがないからだ。23 それらは朝ごとに新しい。「あなたの信実は大偉です。24 エホバは私の分け前です」と私の魂は言う。それゆえ、私は彼を待ち望む。

2. 私たちはまた、絶えず主と交わり、霊にしたがって歩

き、時が良くても悪くても御言を宣べ伝える(主を語る)ことによって、日々勝利の生活をする必要があります。

Crucial Point(1):聖書の御言葉を祈り読みし、レーマの言葉を聞き、語り出し、神の新創造(召会)を建造する

OL1: 私たちの神は語る神です。生ける神は語ることによって、ご自身を私たちの中へと分け与え、注入していません。神が語る時、光が照り、私たちに理解、ビジョン、知恵、語る言葉をもたらします。OL2: 神が語る時、命が分け与えられます。この命はキリストのすべての神聖な属性と、人性の美德を含んでいます。神が語る時、力が伝達されます。これは命の成長し生み出す力です。

OL3: モーセはイスラエルの民がみな預言者となること、すなわち神のために語る者となることを願いました。神の民がみな預言者となるべきであるという事柄に関して、新約のパウロと旧約のモーセは一致しています。

ヘブル人への手紙は神の語りかけで始まります。…神は語りました！彼を賛美します！神が語ったことは絶対に小さな事柄ではありません。語りかけがなければ、神は奥義的です。しかし、彼はすでに彼の語りかけの中でご自身を啓示しました。彼はもはや奥義的ではありません。今や彼は啓示された神です。私たちは語る神を持っています。そしてこの語る神は、語る民を持つことを願っておられます。…そして神の霊は、私たちが語るのを待っておられます。もしアメリカ合衆国の何百万というクリスチャンがすべて毎日、神とキリストのために語るなら、全地は引っくり返されるでしょう。しかしながら、…クリスチャンの習慣は、いわゆる教会に行って一人の語り手に聞き入ることです。私たちはみな立ち上がり、この習わしを覆す必要があります。

私たちは召会の集会に来る時、語らなければなりません。語る方法は一つではありません。叫ぶこと、歌うこと、賛美すること、祈ることはすべて、さまざまな種類の語りかけです。…私たちは集会所で集会を始めるのではなく、私たちのダイニングルームで、リビングルームで、ベッドルームで集会を始めるべきです。私たちは集会に来る準備をしているとき、歌い始めるべきです。また集会への途上で、私たちは歌いながら、賛美しながら、祈りながら、叫びながら来るべきです。モーセはほとんど予言しませんでした。それはイザヤ、エレミヤ、エゼキエルについても同じでした。彼らの書は実は予言をほとんど含んでおらず、むしろ神を語り出すこと、神のために語ること、神を直接語ることに満ちています。…新約のギリシャ語の「預言」は、ある種の神を語ることを意味します。…預言することは、おもにキリストのために語り、キリストを語り出し、キリストをはっきりと語ることです。

### 青少年・大学生編

あなたは私たちの神が語る神であり、語りかけを通して万物を創造し、語りかけを通して新創造である召会を建造していることを理解してください。神の語りかけがなければ被造物(旧創造)は存在せず、新創造も存在しません。あなたは神の語りかけである聖書の御言葉を祈り読みし、現在の神の即時的な語りかけを聞くべきです。ヨハネ6:63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。私あなたがたに語った言葉(レーマの言葉、即時的な言葉)は霊であり、命である。神は神の言葉である聖書を祈ることを通して、今あなたがたに語りかけられます。ですからあなたはいかに祈り読みによって、神の恒常的な言葉(ロゴス)を神の現在の語りかけの言葉(レーマ)に変換するかを学んでください。

聖書は実に祈りに満ちており、また祈りの書です。最も良い祈りは聖書の言葉を使って祈ることです。あなたは若い学生の時から御言葉を祈ることを訓練してくださ

い。もちろんあなたはあなたの要望を神に知らせながら、神と親しく交わることができます。ピリピ4:6 何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることに伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい。しかし御言葉を祈ることをしなければ、あなたの要望はいつも低いレベルのものに留まり続けるでしょう。例えば、「主よ、楽しんで成績が上がるように」とか「良い大学に行って、良い職業に就き、お金持ちになれるように」などです。しかしネヘミヤは聖書を読み、自分たちの状況を見て、次のように祈りました：

ネヘミヤ1:5 …ああ、エホバ・天の神、大いなる畏るべき神よ、ご自身を愛する者、またご自身の戒めを守る者には契約と慈愛を守られる方よ、6 どうか、あなたの耳を傾け、あなたの目を開いて、あなたのしもべの祈りを聞いてください。私は今あなたの御前で昼も夜も、あなたのしもべ、イスラエルの子たちのために祈り、私たちがあなたに対して犯した、イスラエルの子たちの罪を告白します。まことに、私も私の父の家も罪を犯しました。8 どうか、あなたのしもべ、モーセに命じて言われた言葉を思い起こしてください、「あなたが忠信でないなら、私はあなたがたを人々の間に散らす。9 しかし、あなたがたが私に立ち返り、私の戒めを守って、それを行うなら、たとえ、あなたがたの散らされた者が天の果てにいたとしても、私はそこから彼らを集め、私の名を住まわせるために、私が選んだ場所に連れ戻す」。

ネヘミヤに倣って神の言葉を用いて、神の権益のために祈ることを訓練すれば、あなたは今日のネヘミヤとなって、神の言葉を語り、神のエコノミーを遂行する器となるでしょう。祈り：「おお主イエスよ、神の言葉である聖書を祈る時、あなたは私に語りかけられます。祈り読みを通して、レーマの言葉、私に対する現在の語りかけを聞くことができますように。そして受けた感覚を祈り出すことによって、神の言葉を語り、新創造である召会を建造することができますように。召会のすべての兄弟姉妹が神の言葉を語る時、キリストのからだは有機的に建造されます。アーメン！」

**Crucial Point(2):内側の啓示の霊によってキリストと召会についての啓示を得て、建造、励まし、慰めのために語り出す**

**OL1:**旧約における預言者は、新約における油塗る膏油としての聖霊を予表します。**OL2:**人々を感動させて預言者とならせるその霊は、油塗りとして私たちの中へと入って、私たちの預言者となっています。

申命記 18:18 は、神がキリストの肉体と成ることを通してこの預言者を起こして、神の言葉を語らせることを示しています。主イエスが来られた時、彼は確かに神の言葉を語られました。神の言葉を語ることは、神を分与し、神を他の人の中へと語り込むことです。神の長子が、神の言であり、神の託宣であって、神を語り分与して、彼の永遠のエコノミーを完成するためであるように、神の多くの子たちは、神の言の肢体たちであり、神の託宣であって、神を語り分与して、神を拡大させ、キリストを増し加えます。神の長子は神の託宣であり、私たちは多くの子たちです。これが意味するのは、すべての子たちが神の託宣であり、それによって神が拡大を持ち、キリストが増し加わりを持つということです。

旧約において、聖霊が啓示を与えた代理は預言者でした。今日、預言者によって予表される啓示の霊は私たちの中におられ、そしてその霊が直接私たちに啓示を与えます。…旧約において人々を感動させて預言者とならせた霊は、今や私たちすべての内側で油塗る膏油としてのその霊です。その霊は私たちが内側から油塗っているのです、私たちはもはや、私たちの預言者となる

べき外側の代理を必要としません。

新約において、聖霊は旧約の預言者の働きに置き換わりました。今日、召会の中には預言者がいます。ある人たちは預言することができます、他の人たちは励まし、慰めることができます。しかし、私たちには、自分が何をすべきかを来て告げる個人の預言者はいません。…あらゆる人は直接神を知ることができ、また直接神に導かれ、直接神のみこころを知ることができます。…新約の召会は、他の人たちに何をすべきかを教える個人の預言者として行動する霊的な巨人を必要としません。それは聖霊の働きであって、預言者の働きではありません。新約の預言者の主要な働きは、人を建造し、励まし、慰めることです。

### 青年在職・大学院生編

旧約の時代、神の霊は預言者を感動させ、神の民に神の言葉を語らせました。新約では、この預言者の機能があなたの中に住んでいる啓示の霊によって置き換えられています。従って、あなたは内側の預言者である啓示の霊と混ざり合ったあなたの霊を用いて、主と交わり、啓示を受けることができます。ハレルヤ！主を賛美します。兄弟の証し：私が米系大手医療機器会社で、アメリカでの様々な重要な会議に参加している時、多くの重要な事柄をすぐに決定するように求められました。私は追い詰められた状況で、ネヘミヤ 2 章でネヘミヤが天の神に祈りながら王と会話したことを思い出し、ネヘミヤに倣って祈りました。ネヘミヤ 2:1 王アルタシャスタの第二十年、ニサンの月に、ぶどう酒が王の前に出されたとき、私はぶどう酒を取って王に差し上げた。これまで、私は彼の前で決して悲しんだことはなかった。2 王は私に言った、「あなたは病気ででもないのに、なぜ悲しい顔をしているのか？ きっと何か心に悲しみがあるに違いない」。私は大いにおびえた。3 そして、王に言った、「王がいつまでも生きられますように！ 私の父祖の墓のある場所、その町が荒廃し、その城門が火で焼き尽くされたままであるのに、どうして悲しい顔をしないでおられるでしょうか？」。4 王は私に、「あなたは何を求めるのか？」と言った。そこで、私は天の神に祈った。5 そして、王に言った、「もし王が良しとされ、あなたのしもべがあなたの前で好意を得ますなら、私をユダに、私の父祖の墓のある町に遣わして、それを再建させてください」。

神に数秒間祈って決定し、米国本社の役員たちと話をする時、困難な状況を 180 度好転させることができたり、多額の投資を取り付けることができたりしました。このように主と交わりながら信仰の霊の中で決定し、語ったことはすべて祝福されました。ハレルヤ！私の内側には啓示の霊、今日の預言者が住んでいます。私が召会生活の中で毎週預言することを訓練することは、私を成就し、会社にとっても有用な器にすることができました。

祈り：「おお主イエスよ、神の多くの子として、私の内側には神の託宣があります。私の内側に預言者である啓示の霊が住んでいることを感謝します。ビジネス・ライフ、また召会生活において、啓示の霊と混ざり合った私の霊を活用し、預言を訓練し、人を建造し、励まし、慰めることができますように。アーメン！」

### Crucial Point(3):神聖な語りかけのための生活と準備

**OL1:**神のために語ることに神を語り出すことは、神の霊によって語ることで、その霊は私たちと共に、私たちを通して語る準備が常にできています。**OL2:**もし私たちに神に対する十分な認識と、キリストに対する十分な経験がなければ、私たちが彼のために語るものを何も持っておらず、彼を語り出すことができません。**OL3:**新約の預言者の主要な働きは、人を建造し、励まし、慰めることです。

**OL4:**召会の集会で預言することの目標は、キリストのからだとしての召会を建造することです。

**箴 4:18** しかし、義人の路(みち)は夜明けの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。**哀 3:22** 私たちが滅ぼされないのは、エホバの慈愛である。まことに、彼のあわれみは尽きることがないからだ。**23** それらは朝ごとに新しい。…**24** エホバは私の分け前です」と私の魂は言う。…

私たちが預言しようとするなら、預言の生活をする必要があります。第一に、私たちは毎朝復興される必要があります。…二十四時間ごとに新しい開始、夜明け、昇る太陽があります。これは神の創造における自然の法則にしたがっています。私たちはこの自然の法則に従わなければなりません。私たちは朝ごとに早く起きて主と接触し、彼を呼び求め、彼によって復興されなければなりません。**哀歌 3:22~24** において、エレミヤは主のあわれみは朝ごとに新鮮で新しいと言っています。主のあわれみは朝の新鮮な露のようです。毎朝私たちはこの新鮮な露を享受して、新しい開始、朝の復興を持たなければなりません。

私たちはまた、日々勝利の生活をする必要があります。朝の復興の後、私たちは主と接触するのをやめるべきではありません。私たちは瞬間ごとに主と交わることによって、勝利の生活をすることができます。**Iヨハネ 1:6** もし、私たちが神と交わりを持っていると言いながら、暗やみの中を歩いているなら、私たちは偽っているのであって、真理を実行していません。**7** しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪から私たちを清めます。

私たちはまた霊にしたがって歩くべきであり、何ごとともその霊の外側で行なってはなりません。私たちはまたいつも…時が良くても悪くても、言葉(主)を語るべきです。私たちは「今は私が人々に語る時ではありません」と言うべきではありません。時が悪いように見えても、たとえ時が悪くても、私たちはやはり言葉を語らなければなりません。そのような預言の生活は私たちを預言するように資格づけます。

### 新人編

台北において、リー兄弟はどのように主日に召会の集会の中で預言するように準備するのかに関して、いくつかの実行上の交わりを聖徒たちに与えました:

**(1)毎朝復興:**「朝毎の食物」を用いて、毎日、二、三節の御言葉を祈り読み、主を享受する。朝の主との時間に受けた感動についての短い思い起こすものを書き留めておく。

**(2)日々勝利:**朝の復興の後、瞬間ごとに主と交わり、勝利の生活をする。**(3)預言の準備:**土曜日の夜、週の間に感動を受けたことについての六つのメモを用いて、三分間語る預言を構成する。預言には、神聖な照らしを通しての観点持って、神の権益とエコノミー、キリストのからだとしての召会、地方召会、この世、個々の聖徒たち、私たち自身を見ることを含んでいるべきである。さらに私たちが見たビジョンと真理の適用、経験を加える。**(4)実際に預言する時の留意点:** a) 霊を訓練して、エコノミー上の霊で満たされる。エコノミー上の霊は語りかけのためである。b) 即時的な靈感を準備したものに加える。c) 口と音声、語るスピード、身振り、声の強弱を訓練する。d) 預言によって、聞く人々にキリストを建造、励まし、慰めとして分与する。

### 人生の奥義(2)神から与えられる恵み、祝福:『力』

**A.ローマ 7:18 後半** 私は善をしようと欲するのですが、善を行ない出すことはないからです。

**B.ローマ 1:16** 福音は…すべて信じる者を救いに至らせる神の力です。—どんな障害をも打ち破ることのできる強大な力です。この力は、復活したキリストご自身です。彼

は命を与える霊であり、信じるすべての人を救いに至らせません。神は信じる者を、神の罪定めや永遠の滅びからだけでなく、彼らの天然の命、自己からも救われます。それは、彼らが聖別され、造り変えられ、聖徒たちと共に建造されて、キリストの一つからだ、すなわち、彼の豊満、表現となるためです(FN1、2)。

**C.ローマ 8:2** なぜなら、命の霊の法則が、キリスト・イエスの中で、罪と死の法則から、私を解放したからです。—罪の法則は、人の中で自然に起こる罪を犯す力であり、人を罪の奴隷とします(ヨハネ 8:34)。ですから、人には助けがなく、罪によって制御され、操られて、自分の意志に反して多くの事を行ないます。死の法則は、人を弱くし、しなびたものとし、老死させる天然の力であり、人の中に住んで、人のあらゆる部分を衰弱させ、死なせます。一方で、死は人の能力を失わせ、もう一方で、人の感覚を失わせます。そして人が善を行なおうとする時、無力にし、罪を犯す時、無感覚にします。命の霊の法則の働きは、私たちの霊の中の、手順を経た三一の神の働きです。それはまた、私たちの中での、命における三一の神の働きでもあります。肉の中にある罪の法則の働きから私たちを救い出します(FN6、1)。

**D.ローマ 16:25** 神は、私の福音…にしたがって、あなたがたを堅固にすることができます。—あらゆる事柄が達成されたからには、私たちはただ堅固にされる必要があるだけです。この堅固にすることは、神の純粋で完全な福音、すなわち、すべてを含むキリストを宣べ伝え、供給することです(FN1)。

### 私たちの取るべき態度:『算える(計算する、勘定する)』

**A.ルカ 9:25** 人が全世界を手に入れても、自分を失ったり損失を被ったりしたら、何の益があるだろうか?—(儲ける、損失は)商人が用いる言葉です(FN1)。

**B.ルカ 12:19 後半-21** 「魂よ、何年分もの財産が蓄えられている。休んで、食べて、飲んで、楽しめ」。しかし、神は彼に言われた、「愚かな者よ、今夜、彼らはあなたの魂を取り去ろうとしている。そうすれば、あなたの用意したものは、だれのものになるのか?」。自分のために宝を蓄えても、神に対して富んでいない者はこのとおりでである。

**C.エペソ 5:15-17** ですから、あなたがたはどのように歩くか、よくよく注意なさい。賢くない者のようではなく、賢い者のように歩き、今の日々は邪悪ですから、時を贖い取りなさい。こういうわけで愚かであってはなりません。かえって、何が主のみこころであるかを理解なさい。

**D.啓示録 20:12、15** …死人が、大きな者も小さな者も、御座の前に立っているのを見た。…彼らの行ないにしたがって裁かれた。…だれでも命の書に書かれていないことが判明した者は、火の池へ投げ込まれた。

**E.ルカ 14:28 後半** 十分な費用があるかどうか、まず座って計算しないだろうか?

**F.マタイ 26:8** なぜこんな無駄遣いをするのか?—弟子たちは、主にささげたマリヤの愛を無駄遣いと考えました。過去二十世紀を通じて、幾千幾万の貴重な命、心の宝、高貴な地位、輝かしい前途が、主イエスの上に「無駄遣い」されてきました。そのように主を愛する者たちにとって、主は全く愛らしく、彼らのささげ物にふさわしい方です。彼らが主の上に注いだ物は、無駄遣いではなく、主の甘さの香ばしい証しです(FN1)。

**G.Ⅱコリント 5:14 後半-15** そこでこう判断しました。ひとりの方がすべての人のために死なれたからには、すべての人が死んだのです。そして、彼がすべてのために死なれたのは、生きている者が、もはや自分自身ではなく、彼らのために死んで復活させられた方に生きるためです。